

広報

おいらせ

Special
Edition

勇ましき 火消し精神

- 02 Zoom Up ー北向由樹さんー
- 18 まちの話題 Oirase Topics
- 20 国民健康保険税ー約10%引き上げますー
- 28 Monthly Oirase Information
- 29 おいらせが全国に誇れるブランド

Public
Relations
July
2009
No.53

7

勇ましき 火消し精神

火災は一瞬にして多くのものを焼き尽くす。その恐ろしさは今も昔も変わらない。火災を出さないよう、そして防ぐよう、消防署や消防団は命を懸けて活動にあたる。恐ろしい火災から身を守るために、地域ができることは何か。そして一人ひとりができることは何か。

若葉地区林野火災は4月9日に発生した。炎燃えさかる灼熱の森で、必死に消火活動を行う八戸北消防署の岸副士長

7

Oirase Town Public Relations
July 2009 No.53

CONTENTS 目次

- 02 みんなに教えてくれるこの人
—北向由樹さん—
- 03 特集
勇ましき火消し精神
- 18 Oirase Topics まちの話題
- 20 国民健康保険税
約10%引き上げます
- 22 公民館講座、図書館情報
- 24 自治基本条例
- 27 国民年金
- 28 Monthly Oirase Information
- 31 戸籍の窓
- 33 おいらせ健康カレンダー
- 34 Zoom Up
—瞬を一生の思い出に—
- 36 家族のきずな
飛内明澄香ちゃん、理香さん



表紙の写真●木ノ下小学校は5月23日に運動会を行った。5年生対抗リレーで、必死に競り合う天間舞香さんと柏崎敦士君

教えてくれる

夢は必ずかなうもの
プロで気付いたバスケの真髄

この人

北向由樹さん

プロバスケットボール選手



きたむき・ゆうき●1985年おいらせ町洋光台生まれ。百石中学校を卒業後、バスケットボールの名門校能代工業高校、明治大学卒業後、2008年に日本プロバスケットボールリーグの埼玉ブロンコスに入団。ポイントガードとして活躍する。埼玉県さいたま市在住、24歳。

プロバスケットボール選手として活躍する北向由樹さんは、五月二十日に故郷のおいらせへ一時帰省した。
昨年、明治大学から埼玉ブロンコスへ入団した北向さんは、チームで「ポイントガード」というポジションを務める。攻撃のときにはドリブルでボールを確実に敵陣へ運ぶ。味方の得点をアシストし、自らも果敢に得点を狙う役割だ。チームの「司令塔」として、重要な役割を担う。昨年は重要な試合で多くの得点を重ね、大活躍した。
北向さんの身長は一八四センチ、バスケットボール選手としては決して長身ではない。それでも持ち前の運動量とスピード、そして厳しい練習を重ね、チームの中心選手になっていった。

チームの中では若手の北向さんは、プロとしてのシーズン一年目を終えて、さまざまなことを学び取ったという。特にベテラン選手や外国人選手との交流を通じて、スピードや技術だけでなく、「大人としての考え方」を学んでいったそうだ。人への敬意を大切に、良い意味でライバル心を常に持つことの大切さを感じ取った。そのことこそ、お互いの力を高め合うために絶対に必要なことだと、北向さんは力強く語る。
北向さんはおいらせの子どもたちに、どんなことでも高い目標を持つことの大切さを訴える。そして「努力を重ねれば夢は絶対にかなう。あきらめないで今できることを精一杯頑張っ てほしい」とエールを送ってくれた。



01



02



03



04

01_ 消火活動の後方では、消防団員が絶えず送水を行う。消防団員はいつ火事が起こっても対処できるよう、日々訓練を重ねている 02_ くすぶり続ける火種を消そうと、丁寧に放水する 橋 裕章さん=向山= (下田消防団団付分団長) 03_ 放水し終わってからしばらくの間、落ち葉には火種が残っている。再び火災にならないように、丁寧に火を消す消防団員 04_ 消火活動を行っている道路付近で交通整理を行う消防団員

消防・消防団の連携で被害を最小限に食い止めた
放水用のホースが連結され、消火準備が整った。八戸北消防署の岸祐也副士長は、ホースを手にして火元に近づく。そして勢いよく放水する。放水しても、燃えさかる炎はすぐ消えるわけではない。確実に火を

「灼熱地獄」だ。
「灼熱地獄」だ。つまり、燃え広がる炎を心配そうに見つめている。火災現場は杉の木がうっそうと茂る山林だった。炎は猛烈に燃えさかりながら、激しく煙を上げている。少し近づいただけで、肌を焦がされそうになってしまう。人を寄せ付けぬ

消すために、丁寧に、そして迅速に放水する。炎が燃え広がるのを防ぐために、炎の周りにも丹念に水をかけていく。時折先輩から「こつちさかげねえばわがねえ(こつちにかけないとだめだ)」と、大きな声で指示を受ける。
炎から身を守るための分厚い防火衣を着ながら、汗だくで必死に消火活動を行う岸副士長の表情は、真剣そのものだ。
その後方では、消防団員が絶えず水を供給する。ポンプ車の操作も、日々の訓練を積み重ねているためにスムーズだ。ポンプ車は道路に止まっているため、車は片側通行になる。事故を避けるために、消防団員は役

割分担しながら交通整理にあたっている。
必死の消火活動からおおよそ四十分後、炎は消えた。消火の後も、くすぶり続ける地面を、消防団員は丁寧に火種を消している。
消火活動が終わると、消防団員は本部旗の周りに集合し、消火活動の結果をそれぞれ報告する。ほどなくして、町内に火災の鎮火を知らせる放送が鳴り響いた。
こうして四月九日の若葉地区林野火災は終わった。およそ二十三町の山林を焼き尽くしたが、人命に被害はなかった。消防、消防団、住民の見事な連携によって、被害を最小限に食い止めることができた。

消防署と消防団

もともと地域の住民が自分たちの地域を火災から守るために、自主的に組織されていたものが、消防団の前身。ほかに職業を持ちながら、火災が起こったときに消火活動を行う「非常備消防」だ。
消防署は職業として、消火活動などを専門的にあたる「常備消防」である。職業として専門化されたのは、比較的最近のことだ。
火災を素早く消火するためには、両者の協力がいっそう重要になるといえる。



消火を試みる岸副士長。普段平穏な森は、炎燃えさかる「灼熱地獄」と化していた。

正午に鳴り響いた火災放送 現場は肌をも焦がす灼熱地獄

四月九日十二時四十分過ぎ、火災発生の放送がけたたましく町内に響き渡る。町北部の若葉地区で発生した林野火災を知らせる放送だ。
町の消防担当者たちは、役場本庁舎内であわただしく動く。現場の火災状況を電話で確認する職員、現場へ駆けつける準備をする職員など、それぞれが役割分担しながら動く。消防担当の小向正志主任主査は、職員の運転する消防指令車に乗り込

炎はすべてを 焼き尽くす

赤く燃えたぎる灼熱の炎は、人間が汗を流して築いた財産だけでなく、時には命さえも焼き尽くしてしまうもの。炎に包まれた森の中で、人々は必死に消火活動にあたった。

み、急いで火災現場へ向かった。小向主任主査は時折「道を空けてください」と放送し、ほかの車との衝突を避けながら現場へ向かう。
およそ五分後、消防指令車は火災現場に到着した。現場には八戸北消防署や消防団の車両が到着し、今まさに消火活動を開始するところだった。消防署員は何本ものホースをつなぎ、急いで消火活動にあたる。消防団員はそれぞれのポンプ車に素早くホースをつなぎ、中継の準備を整える。周りにはたくさんの方々が集



04_ マーチングを演奏するあゆみ保育園の子どもたち。「火遊びするな」、「火事になくなれ」とみんなで声を出した 05_ まといを手にして一生懸命踊る三田保育園の子どもたち 06_ はしごの上で「腹亀」を披露するいちよう学園の高谷隆成君。見事な演技に、団員たちは惜しめない拍手を送った

表彰者（おいらせ町）

- 消防庁長官表彰■
 - ◎永年勤続功労章／吉本勉
- 青森県消防協会会長表彰■
 - ◎優良消防団／おいらせ町百石消防団
 - ◎功労章／川口勝則、吉本勉、成田協一、袴田敏弘
 - ◎勤功章／日ヶ久保一男、川口勝則、吉田良紀、西舘松治、堀切川行男、成田協一、袴田敏弘
 - ◎20年勤続／堀切川行男、堀切川俊作、小向憲郎、川口光雄、川口正、清水正一、堀川正幸、沼端正志、高坂隆雄、山崎一夫、袴田和人、北向清太郎、堤孝正
 - ◎15年勤続／堀川康、谷川悟、大光信彦、川崎義光、伊藤信春、吉本金市、上久保辰視、市村勝志、小向泰博
 - ◎10年勤続／小向和彦、小向靖明、川口康晴、川口秀和、堀切川均、平文彦、小向貴博、柿本広、大久保幸夫、蛭名光男、市村大伸、大久保隆藏、松坂博文、大久保昭男、北向智

- 日本消防協会会長表彰■
 - ◎功績章／田畑清吉
 - ◎精績章／小向彰一、日ヶ久保一男
 - ◎勤続章／川口勝則、柏崎千年志

- 青森県消防協会十三支部長表彰■
 - ◎支部功労章／田端順悦、小向涉、沼端務、沼端弘輝、熊野恵子、濱田美鈴、小笠原敏朗、堀川克範、小田吉人、坂井田 淳悦、磯沼秀樹、袴田勉、柏崎修、田中正幸、北向栄作、田中義則

（所属、敬称略）



01_ 観閲式の運営は、主に百石消防団が担当した。5月21日に開かれた百石消防団幹部会議で、当日の流れを綿密に打ち合わせする団員たち 02_ 下田消防団は5月31日、車両部隊点検報告の流れを確認した。八戸北消防署の名久井署長は、分団員に点検の動きを身ぶり手ぶりで指導した

規律正しき消防団員たち

— 三沢地区消防団連合観閲式 —

三沢地区消防団連合観閲式は6月7日、町民交流センターで開かれた。降りしきる雨のため、計画通り屋外で行うことはできなかった。しかし式典に臨んだ団員たちは、みな凛と表情を引き締める。人命救助を第一に考える、規律正しき消防団員の姿を見た。

強い低気圧がもたらした雨 観閲式は屋内で行われた

三沢地区消防団連合観閲式は六月七日、町民交流センターで開かれ、おいらせ町、三沢市、六戸町からおよそ五百人の消防団員たちが参加した。数日前から太平洋沖を北上した強い低気圧は、観閲式当日に強い雨をもたらした。当初屋外で行う予定だった観閲式は、観閲や分列行進、玉落としなどを行わず、式典のみを実施した。はじめに消防活動に功績のあった団員たちが表彰された。下田消防団団付分団長の吉本勉さんは、永年勤続功労章を受章。三村申吾青森県知事から表彰状を手渡された。吉本さんは受賞の喜びをしっかりとかみ締めながら、賞状を受け取った。ほかにも長年の消防活動を支えてき

たたくさん消防団員が表彰を受けた。表彰された団員たちは、みな表情を引き締め、今後の活動へ決意を新たにしていた。

園児たちのアトラクション ちびっこたちの消防精神

式典の中で行われたアトラクションは、保育園の子どもたちによる出し物が披露された。あゆみ保育園（吉田絹恵園長、園児七十一人）は、マーチングを演奏した。堂々とした演奏に、たくさんの消防団員たちから惜しめない拍手が送られた。三田保育園（三村伸子園長、園児六十人）は、まといを使っただけの踊りを披露した。子どもたちの元気な舞いは、見る人々に感動を与えた。いちよう学園（築田當子園長、園児三十六人）は、子どもたちがはしご乗りに挑戦した。高さ

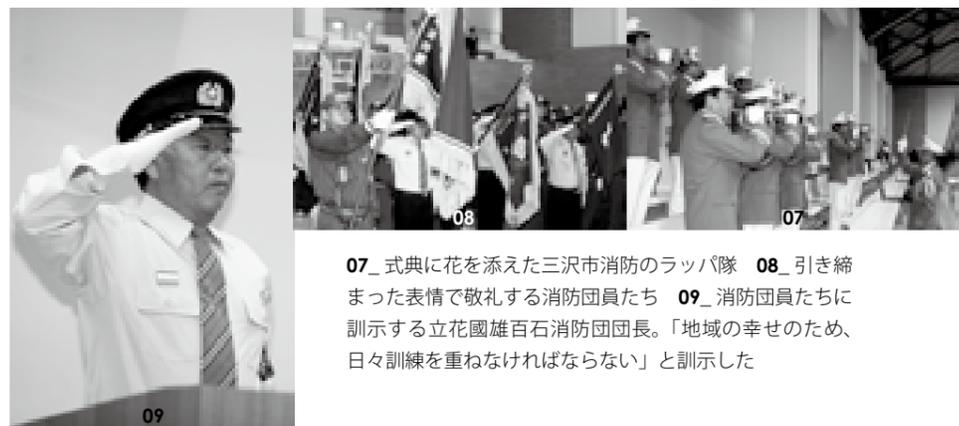
三沢以上もありそうなのはしごに登る子どもたち。はしごの上で遠くを眺める「遠見」や、体を大きく反らせる「腹亀」などが行われると、会場からは大きな拍手が沸き起こった。

消防団は命がけの活動 大きな充実感と達成感

三村青森県知事をはじめとする多くの来賓から、消防団員に対し温かい言葉が寄せられた。三村知事は「防災には消防団員の力が絶対に必要」と、その必要性を熱く語りかけた。最後に立花國雄百石消防団団長は「消防団は命がけの活動だが、大きな充実感と達成感に満ちたもの。地域の幸せのため、日々訓練を重ねなければならない」と訓示した。来年の観閲式は三沢市で開催される予定だ。



03_ 三村申吾青森県知事から賞状を受ける吉本勉さん（下田消防団団付分団長）

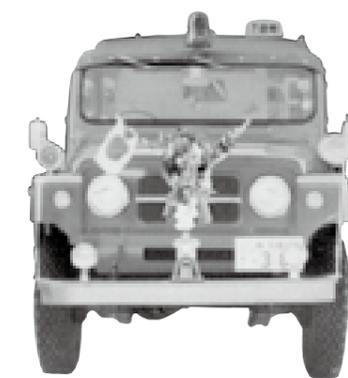


07_ 式典に花を添えた三沢市消防のラッパ隊 08_ 引き締まった表情で敬礼する消防団員たち 09_ 消防団員たちに訓示する立花國雄百石消防団団長。「地域の幸せのため、日々訓練を重ねなければならない」と訓示した

消防団の奮闘

File 01 歴史と伝統

消火活動に欠かせない役割を持つ消防団。「自分たちの地域は自分たちが守る」強い使命感にあふれた地域の力は、遠い明治時代から絶えることなく、今の時代へと受け継がれている



▲ 昭和40年代の下田消防団第八分団の車両

江戸の火消しの精神は今もなお団員に引き継がれる

消防団は、もともと江戸時代の町火消しがルーツであるといわれる。当時は火災が起こると、火が燃え広がるのを防ぐために、のこぎりやかけやで建物を壊し、被害を最小限に食い止めた。とび職人などの町人が中心になって組織された町火消しはそれぞれ組をつくり、互いに競い合いながら火消しに汗を流した。文明開化と富国強兵を目指した明治時代には、日本全国で消防組が組織され始める。これらは昭和初期の戦中には警防団に改変される。そし

て戦後の昭和二十三年、消防制度が再編され、現在の消防団が組織された。

本町でも明治二十四年に百石村消防組、大正元年には下田村消防組が組織された。そして時代の流れと共に名称を変えながら、現在に至る。消防団は、「自分たちの地域を自分たちの手で守りたい」という思いによって組織されてきた。その精神は、今もなお伝統として、たくさんの団員たちの心に根付いている。本年六月一日現在、町の消防団に所属する団員は三百三十七人。団員一人ひとりは、地域を守る使命感を常に持ちながら活動にあたっている。



おいらせ町百石消防団 立花國雄 団長

Tachihana Kunio
(59、一川目)

下田消防団と百石消防団は、長い歴史と誇りを持って、地域の防災活動に命をかけて頑張ってきました。これからも団員が団結し、地域の生命や財産を守っていかねばなりません。

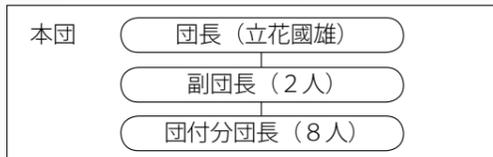


おいらせ町下田消防団 袴田邦彦 団長

Hakamada Kunihiko
(62、間木)

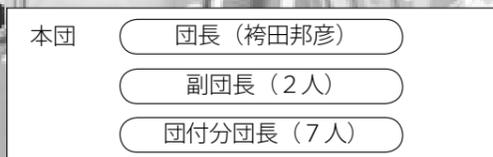
昔からたくさんの人々が誇りを持って消防団活動を行ってきました。自分たちの地域を自分たちの手で守るという強い気持ちを持ち、これからも消防団活動を展開していきます。

■百石消防団 (団員数 159人)



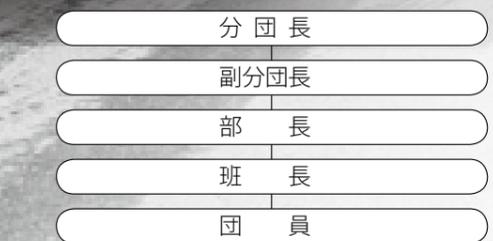
- 第一分団 (本町地区)
- 第二分団 (一川目地区)
- 第三分団 (二川目地区)
- 第四分団 (藤ヶ森地区)
- 第五分団 (堀切川地区)
- 第六分団 (川口・明神下・横道地区)
- 第七分団 (深沢地区)
- 第八分団 (日ヶ久保地区)
- 第九分団 (根岸・黒坂地区)
- 第十分団 (百石地区全域)

■下田消防団 (団員数 178人)



- 第一分団 (木内々地区)
- 第二分団 (本村地区)
- 第三分団 (三本木地区)
- 第四分団 (三田地区)
- 第五分団 (木ノ下地区)
- 第六分団 (間木地区)
- 第七分団 (木崎・染屋地区)
- 第八分団 (向山地区)
- 第九分団 (秋堂地区)

■分団の階級



平成	昭和	大正	明治
<p>02 一川目婦人消防協力隊が第十分団に昇格。県南初の女性消防団が誕生</p> <p>12 北分署が八戸北消防署に昇格合併によりおいらせ町が誕生</p> <p>18 合併によりおいらせ町が誕生</p>	<p>29 消防団第八分団(日ヶ久保)が発足</p> <p>23 百石町消防団に改名</p> <p>14 百石町警防団第七分団(深沢)が発足</p> <p>11 百石町消防組第六部(二川目)が発足</p> <p>08 百石町消防組第四部(堀切川、第五部(川口)が発足</p> <p>14 百石町警防団に改組</p> <p>18 百石町警防団第七分団(深沢)が発足</p> <p>23 百石町消防団に改名</p> <p>29 消防団第八分団(日ヶ久保)が発足</p> <p>47 北分署新庁舎が木崎に完成し、移転</p> <p>46 八戸地域広域市町村圏事務組合が発足</p> <p>八戸消防署北分署が百石町消防団一分団屯所に設置され、業務を開始</p> <p>51 一川目女子消防隊が一川目婦人消防協力隊に改名</p> <p>55 第九分団(根岸)が発足</p> <p>60 古間木山婦人消防クラブが発足</p> <p>木ノ下婦人消防クラブが発足</p>	<p>14 下田村消防団第四部(木ノ下)が発足</p> <p>02 下田村消防組第三部第一号(三本木、第二号(三田)が発足</p> <p>12 百石村消防組機関部、第三部(藤ヶ森)が発足</p> <p>一川目女子消防隊が設立</p>	<p>40 木内々若者組を中心に私設の消防団が発足</p> <p>43 木内々消防組(公設)が発足</p> <p>01 下田村消防組第一部(木内々、第一部(本村)が発足</p> <p>02 下田村消防組第三部第一号(三本木、第二号(三田)が発足</p> <p>14 下田村消防団第四部(木ノ下)が発足</p> <p>24 百石村消防組(私設)が発足</p> <p>28 百石村消防組(公設)が発足</p> <p>本村(本町)と一川目で組織</p>

消防団の奮闘

郷土を愛する 女たちの力

File
_02

一川目の男たちはかつてニシン漁に出た。「男たちのいない間、女がムラの命を守る」強い郷土愛と責任感、女の手による消防組織をつくりあげた。遠い大正時代の精神は平成の今もなお、一川目の女たちの心に染み込んでいる

ムラは女の手で守る 強い思いで発足した十分団

太平洋から心地よい潮風が吹く一川目地区。ここは昔から漁業が盛んな地域だ。

大正時代の一川目地区には、北海道にニシンを追って出稼ぎに行く男性が多かったという。男性は長い間、地域を留守にするため、残された女性たちは家族を守るため、必死で働く。そして地域の人々を火災や津波などから守るために、女性たちは自らの手で女子消防隊を結成した。

当時の組頭は「先年の火災に三時間という長い間、出火当初から後始

末まで女同士で腕用ポンプを運用し続けたのを目撃してから女の消防隊を組織する気になったのである（百石町消防団史から抜粋、原文のとおりに）と語っている。

後に青森県南初の女性消防隊として発足する百石十分団は、こうして成り立った組織だ。「男のいない間は、ムラは女の手で守る」という、女性たちの強い思いに支えられたものだった。

観閲式直前の打ち合わせは 終始笑顔の絶えない和やかさ

観閲式を直前に控えた五月三十一日、一川目地区の屯所にはたくさん

の女性たちが集まり、打ち合わせをしていた。十分団の団員たちだ。彼女らは当日の役割を綿密に話し合う。表彰の介添えやアトラクションの出演者誘導、玉落としの賞品整理など、役割を決めていく。みんな笑顔で話しながら、時折笑い声を上げていく。

団員の話や、優しいまなざしで見つめている分団長の松林光子さん（六四）＝一川目＝。幅広い年齢の団員たちの話をまとめていく。

平成十七年から第四分団長を務める松林さんは、女性消防としておよそ四十年間かかわってきた。入団のきっかけは、初代分団長の立花くにさんからの強い勧めだったという。その時の様子を、松林さんは笑

いながらこう話す。

「立花さんは『消防に入ってけると、銭湯に入っているわたしのところまで来て誘ったんですよ』

支えてくれて力強い その言葉にうれしさを感じた

こうして消防活動を始めた松林さんは、これまでいくつもの活動を支えてきた。

中でも記憶に残っているのは、平成九年十二月に起こった「メラティマス号流出油事故」だという。当時は町だけでなく、県や漁協、八戸海上保安部などさまざまな団体が協議を重ね、事故処理や補償問題の処理にあたった。もちろん消防団も流出した油の除去作業に、多くの団員が

Profile

ももいししょうぼうだんだいじゅうぶんだん●一川目地区の女性たちで組織される消防団。大正12年に女子消防隊として発足。以後、昭和51年に婦人消防協力隊への改名を経て、平成2年に百石十分団へ昇格。県南初の女性消防団となる。消火活動を除く後方支援や被災者の誘導、救護などの活動を展開する。現在は松林光子団長をはじめ、14人の団員が所属



百石消防団第十分団

松林光子 分団長

Matsubayashi Mitsuko
(64、一川目)



嫁に来たときには、もうすでに女性消防が組織されていました。当時は帽子もなく、豆しぼりを頭にしばって活動したものです。これからは地域を支えるために頑張っていきたいと考えています。

百石消防団第十分団

石田るみ子 班長

Ishida Rumiko
(52、一川目)



一川目には家族で消防活動に参加している人もたくさんいます。地域や家庭が協力して活動に取り組んでいる地域です。先輩たちだけでなく、若い団員もいますから、そのつなぎ役として頑張ります。

百石消防団第十分団

館美香子 団員

Tate Mikako
(36、一川目)

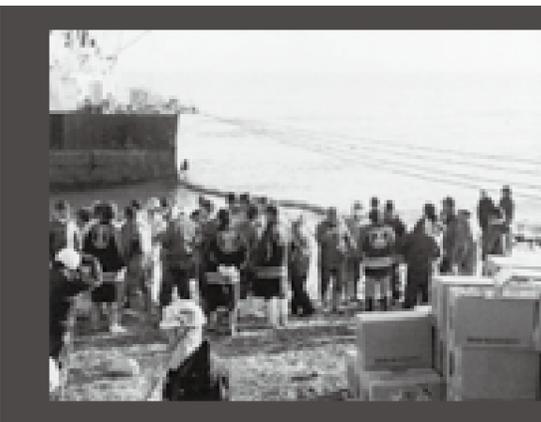


入団したばかりで、活動に出たことはまだありません。大正時代から続く伝統に、重みを感じます。分からないことばかりですが、先輩たちを見習って、少しずつ経験を積んでいきたいと思っています。

女性消防団員を募集

町消防団は、災害に強いまちづくりのために女性消防団員を募集している。女性のきめ細かな視点で、啓発や広報、支援活動などを行うものだ。興味のある人はぜひ気軽に問い合わせしてほしい。

●問い合わせ
総務課 ☎0178-56-2166



メラティマス号流出油事故

平成9年12月8日、百石海岸南側にメラティマス号（マレーシア船籍貨物船、3,960トン、乗組員18人）が座礁し、大量の重油が海中に流出した。重油による漁業被害などを食い止めるため、消防団をはじめとする多くの人が重油除去作業にあたった。船骸撤去作業は平成10年3月25日に終了。百石町（当時）には、およそ1,300万円の損害補償額が支払われた。

消防団の奮闘

File
_03

若者が集う 情熱あふれる分団

間木地区を管轄する下田消防団第六分団。
毎年のように地域の若者たちは、
地域に貢献しようと入団を願い出る。
祭りの山車をつくりながら、
地域を守る消防への熱い思いを、
若者たちはいつも仲間と語り合っていた

Profile

しもだしょうぼうだんだいろくぶんだん
●間木地区を主に管轄する消防団。
昭和23年に下田村間木火防組として
発足し、昭和31年に下田村第六分団
に昇格。使命感あふれる若手団員が多く、
地域と密接に結びつきながら活動を
展開。袴田敏弘団長（前列左から3
人目）をはじめ、23人の団員が所属



**入団待ちをする若者が多い
若者がおのずと集う第六分団**

間木地区を管轄する下田消防団第六分団には、若い団員が比較的多い。現在二十三人の団員で組織されているが、そのうち二十歳代は四人、三十歳代は七人と、およそ半数を占めている。平均年齢は約三十九歳だ。この若い六分団を取りまとめる袴田敏弘分団長（五七）は「間木は六分団に入団したいという若い者は、まだまだたくさんいるんですよ。彼らにはもう少し入団を待ってもらっています」とこりこり。

現在、多くの市町村で「消防団員の不足」が話題になっている。▽少子高齢化による若手の不足▽過疎化による人不足▽仕事との両立の難しさ▽など、さまざまな原因が考えられる。中には団員を確保できずに、消防団の存続そのものが難しくなっている地域も増えているという。このおいらせも例外ではなく、団員確保に苦慮する分団は確かにある。

そのような時代に、「入団待ちをする若者が多い」という間木地区の第六分団。なぜこんなにも若者が集まってくるのだろうか。

**秋の祭りに参加した山車は
消防団が積極的にかかわった**

第六分団は観閲式を直前に控えた五月三十一日から六月四日までの五

は、祭りの山車づくりにあるのではと話す。

間木町内の有志たちは平成十五年、毎年九月に行われる下田まつりに、初めて山車を参加させた。町内のみんなが力を合わせて山車をつかったが、その中心を担っていたのは、まさに第六分団員たちだった。

山車づくりをしながら、団員たちは消防活動について熱く語り合っていた。その話を聞いた町内の若者たちは、「自分も入団したい」と思うようになった。現在の団員の中には、山車づくりがきっかけで入団した若手が三人いるという。

「山車づくりは子どもたちに夢を与えるだけでなく、若者たちに『地域を守る消防のやりがい』を伝えられる場なんです。橋本さんにはこりこり笑いながら語った。

**無理をすることなく
しっかりと役目を果たしたい**

山車づくりと団員確保がうまく結びついた間木地区だが、仕事との両立はなかなか難しい面もある。特に町外へサラリーマンとして勤めている場合は、勤務時間中に火災が起きたとしても、なかなか消防活動に参加することは難しい。

このことに対して袴田団長は、全員が無理を出る必要はないという。もちろん活動に参加できるときには、しっかりと役目を果たしてほしいという思いだ。

「自分たちが自分たちの地域を守るという気持ち、それだけは団員みんなが忘れてはなりません」袴田団長は確固たる決意で前を見据えた。



01_玉落としの訓練を行う橋本貴浩さん。本番は放水先頭の「口取り」を任される
02_坂井田昇班長は若手団員に気合いを入れながら熱血指導した
03_先輩から玉落としの指導を受ける林俊一さん
04_本年中に建設予定の第六分団屯所建設に向けて、綿密な打ち合わせを重ねる。業者の説明を熱心に聞く袴田敏弘分団長（中央）、袴田雅良班長（右）



05_下田まつりに参加した間木の山車。平成20年は最優秀賞を受賞した

HISTRY 第六分団の歴史

昭和	23	下田村間木火防組を結成
	31	下田村消防団第六分団発足、屯所を建築
	33	可搬式ポンプ入魂式
	43	第1回青森県消防操法大会、可搬式で優勝
	44	警鐘台落成
	47	消防自動車ポンプ納車
	47	屯所改築
平成	48	青森県消防操法大会、自動車ポンプ第3位
	57	青森県消防操法大会出場
	59	屯所増築
	61	30周年記念式典
	7	40周年記念式典
	8	消防ポンプ車納入
	14	上十三支部消防操法大会優勝
14	第22回青森県消防操法大会、準優勝	
18	50周年記念式典	



Interview

明日を担う若手消防団員たち

中村
●下田消防団第三分団
雅俊さん

Nakamura Masatoshi

下田消防団第三分団の将来を背負うのは、
明朗活発な地元木材屋さんの若大将。
「引き受けたからにはとことんやります」
その明るい一言ひとことに、
地域貢献への熱い思いがみなぎる。



Profile
なかむら・まさとし●昭和60年おいらせ町三本木生まれ。光星学院高等学校卒業後、東京での生活を経て、平成18年に父の経営する株式会社入瀬木材に勤務。営業担当として多忙な毎日を送る。平成20年春に下田消防団第三分団に入団。趣味はサーフィン。父母、姉との4人暮らし。おいらせ町三本木在住、独身、23歳

大きなやりがいを感じる地域貢献

わたしが消防団に入ったのは、父親の勧めによるものでした。それまで地域の集まりにかかわったことのないわたしにとって、少し面倒なことだなと思ったのが、正直な気持ちです。同年代の友達でも、消防団に入っている人はいませんでしたから、なおさら不安な気持ちがありました。でも、引き受けたからにはしっかりとやり遂げたい、とことんやりたいと思いました。地域のためになるのだったら、中途半端な気持ちでは絶対にいけない！そう思って、これまで活動を続けてきました。

第三分団に入団してみると、周りの先輩たちがとても親切な人たちだということに気付きました。わたしにとって消防の訓練は、今まで見たこともないようなものばかりでしたが、先輩たちは丁寧に教えてくれました。そして自分自身で、少しずつ物事を覚えていくことの楽しさを感じるようになりました。

本年四月、阿光坊地区で発生した住宅火災の時に、初めて消火活動に加わりました。先輩たちが放水するホースを、ねじれないように夢中で押さえていました。初めて体験する火災現場でしたが、先輩たちからきちんとして基本を教わってもらったので、自分なりにスムーズに対応できたと思っています。普段からの訓練の大切さを実感しました。人の命に別状がなかったことで、ほっとしたことを覚えています。

消防団の活動は、今のわたしにとって最もやりがいを感じる地域貢献だと思っています。世代の違う地域の人たちと交流し、学び、責任感を持つて活動にあたっていききたいです。本年からは先輩が新たに加入してきます。良い手本になることができるよう、これからも頑張ります。



Interview

明日を担う若手消防団員たち

沼端
●百石消防団第八分団
一也さん

Numahata Kazuya

百石消防団第八分団期待のホープは、
新幹線七戸駅の足場をつくる職人。
「消防団だった祖父や父にあこがれた」
消防団の伝統を引き継ぐことは、
当然のなりゆきだったと語る。

消防団員の姿にあこがれていました

本年四月、地元日ヶ久保にある百石第八分団への入団を勧められたときは、何のためらいもありませんでした。祖父や父も、わたしが小さな子どものころから消防団員として頑張っていました。その姿を「カッコいいな」と、昔からあこがれていました。いよいよ自分がその役割を担うときが来たのか！そう思うと、気持ちがあふくと引き締まりました。

わたしはまだ消防団員としては、駆け出しでしかありません。入団早々、先輩たちと一緒に見回りし、消火栓の操作などを実際に体験しました。最初はどこに消火栓があるのか、どのように操作すればよいのか、まったく分かりませんでした。でも先輩たちから親切に指導してもらったおかげで、今は自分なりに把握できていると思います。

親切に指導してくれる先輩たちですが、時には厳しくしかられたこともありました。

もありません。でも、人の命を救う大切な仕事ですし、気の緩みが思わぬ大けがにつながることもありまます。そうならないように、あえて厳しく接する先輩たちには、本当に感謝し、尊敬しています。

高校を卒業して間もない頃、友人の家が火事で燃えてしまったことがありました。その現場を自分の目で見ましたが、燃えさがる炎を、ただ呆然と眺めることしかできませんでした。その時感じた火事の恐ろしさは、今でも目に焼き付いています。

仕事は町外で行うこともありまますから、なかなか火事の現場に駆けつけられないことが多いです。でも、町内にいるときに火事が起こったならば、先輩たちと真っ先に現場に駆け付け、一秒でも早く火を消したいと思っています。そのためにも技術をしっかりと身に付け、経験を積んで一人前になりたいと考えています。



Profile
ぬまはた・かずや●昭和58年おいらせ町日ヶ久保生まれ。平成18年から(有)沼栄工業に勤務。現在急ピッチで工事が進められる新幹線七戸駅舎の足場を組む仕事に携わる。本年4月に百石消防団第八分団に入団。趣味はスノーボード。祖父母、父母、弟2人との7人暮らし。おいらせ町沼端在住、独身、26歳

住宅用火災警報機 FIRE ALARM	タバコ CIGARETTE	仏壇のろうそく CANDLE
家庭への設置は義務	タバコの火はしっかり消す	離れるときは火を消す
 住宅用火災警報機は平成20年6月から全家庭に設置することが義務化された。新築の家は建築時に取り付けられるので安心だが、古い家ではまだ取り付けられていないところも多い。	 タバコの火の消し忘れによる火災も多い。タバコを吸った後の吸い殻は、きちんと火を消しておく。寝タバコは極力控えたほうがよい。タバコのポイ捨ては、枯れ草などにすぐ燃え移る。	 仏壇などで使うろうそくが出火原因の火災もある。何かの拍子でろうそくが倒れると、あっという間に火は広がる。ろうそくのある場所を離れるときには、火をきちんと消しておきたい。

コンセント CONSENT	調理 COOKING	野焼き OPEN-AIR BURNING
使わないときは抜いておく	火元から絶対に離れない	野焼きは原則禁止
 電気が原因で起こる火災も多い。特にコンセント周りは、電気が集中する部分で熱を持ちやすい。電化製品を使わないときは、コンセントを抜いておくことが必要だ。ほこりにも注意。	 家庭から発生する火災の多くは、調理に関係するものが原因だ。ガスコンロを使うときは、火元から離れないようにしなければならない。使わないときはガスの元栓はきちんと締める。	 農業や祭事など、特別な場合を除いて野焼きは法律で禁止されている。農業などで野焼きをする場合も、隣の家に迷惑をかけないなどの配慮は最低限のマナーだ。

取材を終えて

火災が起こるたびに町内に放送が鳴り響き、地域の消防団員たちがサイレンを鳴らしながら車で火災現場に駆け付ける。この姿はおそらくほとんどの人が見たことがあるのではないだろうか。

でも、実際に火災の現場へ行ってみると、そこで展開される活動は、きちんと役割分担され、統率されているものだった。ただ火を消せばよいというのではなく、そこには中継や交通整理、延焼防止など、さまざまな動きがあった。

火災現場の最前線に立つ消防署と、それを強力にバックアップする消防団。彼らの関係は、人命救助のためには切っても切れない関係にあるのだと、あらためて気づいた。

消防団は今、全国的に人手不足に悩んでいるといわれている。それでも地域の人々の命を守り、地域のリーダーとして役割を担う。取材先で出会ったたくさんの団員たちは、みなそれぞれに強い思い、誇りを持っている人たちがばかりだった。まさに「勇ましき火消しの精神」である。

火災を出さないために、わたしたち一人ひとりがあらためて火災の恐ろしさを肝に銘じて、「火」と上手に付き合っていくことが大切だ。

特集◎勇ましき火消し精神 終わり

特集の意見や感想を寄せてください

- おいらせ町企画課
Tel. 0178-56-4701
- ホームページ・町民の声
http://www.town.oirase.aomori.jp

「平成二十一年三月現在の住宅用火災警報機の普及率は、八戸地域広域市町村圏事務組合を構成する八市町村の平均で34・8割です。中でもおいらせ町は27・1割と、構成市町村の中で最も低い普及率です」
住宅用火災警報機は煙や熱などを感知し、音や光を出して火災の発生を知らせるものだ。数千円で購入できるものだが、おいらせ町ではまだまだ普及していないのが現状だ。「命を守るための大切な器具です。実際に住宅用火災警報機のおかげで命が助かったという例もたくさんあります。まだ設置していない人は、早めに取り付けてもらいたいと思います」
これまでいくつもの火災現場に出動してきた田中副隊長。火災に遭った人の命を救うことができず、悲し

い思いをしたこともあるという。それだけに、言葉の一つひとつをしっかりと噛み締めながら話した。
田中副隊長は、消防署や消防団などだけでなく、地域の住民が結束して、地域を防災から守る「自主防災組織」の大切さについても語る。「地域の人々が、自分たちの地域を守る気持ちは、大変重要なことだと思います。自主防災組織には、わたしたちができる限り支援していきたいと考えています」
現在おいらせ町では、五つの自主防災組織が立ち上がり、防災活動や学習を継続している。これらの地道な継続は、万一火災や災害が発生した時に、きつと生きてくるはずだ。

地域の人々の防災意識
自主防災組織は重要な役割

自主防災組織とは

自主防災組織は、地域住民による任意の防災組織をいう。自主防災組織の重要性は、1995年の阪神淡路大震災後に特に重要視されはじめた。倒壊家屋から救われた人命の割合は、消防組織ではない近隣住民によるものが実に9割を超えていたためだ。
おいらせ町でも現在5つの自主防災組織がすでに立ち上がり、活動を展開している。自主防災組織は、消防団と共に

地域が力を合わせ、防災から命を守るために大切な組織だ。立ち上げを検討している町内会などは、気軽に町総務課へ相談してほしい。

◎町内の自主防災組織

- 1 横道火防組 昭和52年発足
- 2 深沢地区自主防災会 平成19年発足
- 3 洋光台地区自主防災部 平成19年発足
- 4 古間木山連合町内会自主防災部 平成19年発足
- 5 上新町自主防災組織 平成20年発足

火災を起こさないために

火災が起こる理由のほとんどは、人の手によるもの。普段から気配りしていれば、防ぐことができるものも多い。火災を未然に防ぐため、一人ひとりはどうすればよいのか。

一人ひとりが火災を出さない
基本は火の後始末

消防署員や消防団員たちは、日々のたゆまぬ訓練を続け、火災が起こったときには命をかけて消火活動にあたる。それぞれの持つ使命感や誇りは、長い年月を経て今日まで至るものだ。
しかし、火災を起こさないために、最も基本的で大切なことは、「一人ひとりが火事を出さないこと」だ。かけがえのない人間の命を焼き尽くしてしまふ住宅火災、大切な財産を一瞬にして失ってしまう林野火災などを起こさないために、家庭の一人ひとりが、火の後始末をしっかりと行う必要がある。
本年四月に八戸北消防署に着任した田中真副隊長は、近年発生している火災についてこう語る。「昔も今も、家庭で起こる火災の多くは、調理にかかわるものが原因になっているようです」
ガスコンロで料理をしている間、つい電話や来客への対応など、ほかの用事に夢中になってしまうことがある。このような時に、てんぷら油に着火し、炎が燃え上がるというケースがよくあるという。
また、屋外でものを燃やす野焼きは、農業や祭事など特別の場合を除き、原則として禁止されている。しかし、この野焼きが原因で林野火災が頻繁に起こっている。このことに

火を扱うときは、どんな場合でも「きちんと火の後始末を自分ですること」、この当たり前のことを、当たり前前にすることが大切だ。
八戸北消防署に林野火災の連絡が入るとき、もう手をつけられないほど火が広がってしまったということもあるという。そうならないためにも、しっかりと自分で火を消すことができるよう、常に気を付けておかなければならない。
おいらせの普及率は27割強



八戸北消防署
田中真 副隊長兼 救助隊長
Tanaka Makoto

おいらせは総合3位に輝く
郡総体で選手たちは大健闘



上北郡総合体育大会は6月6日、7日の両日、六ヶ所村を主会場に開かれました。本町から参加した14種目の選手たちは、日ごろの練習の成果を存分に発揮。おいらせ町は郡下7町村中、総合3位の成績を取めました。

◎おいらせ町の優勝種目
バスケットボール女子(17年連続) / グラウンドゴルフ(8年連続) / サッカー(4年連続) / 卓球女子(9年ぶり)

◀ボールをめくり、相手選手と激しく競り合う谷地亮祐選手(背番号9)

教育の発展に強い思い
町教育委員を新たに任命



町は新たな教育委員に、渡部タイ子さん(59) =七軒町=、武田昭子さん(48) =緑ヶ丘=の2人を任命しました。

保育園で乳幼児の保育に長年携わってきた渡部さんは「町の教育発展のため、これまでの経験を少しでも生かしたい」と抱負を語りました。保護者として子どもを育てている武田さんは「責任の重さをずっしりと感じています。町の子どもの健やかな成長のために、少しでも役に立てばうれしいです」と、これからの活動に意欲を燃やしていました。

◀新たに教育委員に任命された渡部タイ子さん、武田昭子さん(写真左から)

花束に感謝の気持ちを込めて
町連合婦人会父の日キャンペーン



町連合婦人会(種市恭子会長)は6月12日、父の日キャンペーンのために町長室を訪問し、花束を贈りました。この行事は婦人会恒例の行事として、毎年父の日の前後に行われているものです。

吉田絹恵副会長から花束を手渡された三村町長は終始笑顔。会員たちは「町の将来の夢」「町のイベント」「婦人会の役割」など、さまざまなテーマで町長との懇談を楽しみました。

◀町長へ花束を贈った町連合婦人会の会員たち

町の子どもたちのために
町奨学資金に20万円を寄付



渡邊キミエさん=鶉久保=は6月12日、町長室を訪問し、町奨学資金として20万円を寄付しました。

長年第一生命に勤務していた渡邊さんは、「退職を期に、地域へ少しでも貢献したいと思います。子どもたちの教育のために活用してください」と話していました。

大切にに使わせていただきます。ありがとうございました。

◀町長へ奨学資金を手渡す渡邊キミエさん

古墳群の将来像を検討する
史跡阿光坊古墳群保存管理計画策定



史跡阿光坊古墳群の保存管理計画策定委員会は5月24日、25日の両日開かれました。

初日は阿光坊古墳群現地で視察を実施。委員たちは現地をくまなく歩きながら、保存状態の良い遺構を確認していました。2日目の会議は、今後の活用方法に向けて、委員から活発な意見が出されました。

この策定委員会は今後も重ねて開かれ、年度末には古墳群の新たな活用法などの方針が計画としてまとめられる予定です。

◀阿光坊古墳群内で視察する策定委員たち

赤組も白組も頑張った
百石小学校運動会



百石小学校の運動会は6月2日、百石小学校グラウンドで開かれました。当初予定していた日程から雨のために延期になり、ようやくこの日に開催することができました。

子どもたちは100メートル走やリレーなどで大活躍。赤組も白組も、みんなが勝利を目指して頑張りました。

当日訪れた保護者たちは、子どもたちの懸命な姿に目を細めながら、惜しみない拍手と声援を送っていました。

◀ゴールを目指して懸命に走る子どもたち

愛される公園を目指して
商工会工業部会の公園整備作業



商工会工業部会(三村良七部会長)は6月3日、いちょう公園で整備作業を行いました。

参加した会員およそ50人は、120本ほどのアジサイやドウダンツツジを丁寧に植え付けました。公園内の植木を丁寧に剪定する会員もいました。

いちょう公園にはおよそ600本のアジサイが植えられています。季節ごとにさまざまな植物や花を植え、訪れる人を楽しませるようにしています。

◀植木を丁寧に剪定する西村敦子さん(三ツ和食品に勤務)

少年の野球技術上達を願う
野球協会は学校へボールを寄贈



町野球協会(大山会長)は6月5日、本町すべての小学校、中学校へ野球ボールを1ダースずつ寄贈しました。

大山会長は村上教育長へボールを手渡ししながら、「野球はいつの時代も子どもたちにとって人気のあるスポーツ。野球少年たちのプレー上達のために、役立ててほしいです」と話していました。

中体連などの大会が近づき、どの学校も野球の練習にいつそう熱が入ります。普段の練習の成果を発揮できるように、精いっぱい頑張ってもらいたいものです。

◀ボールを村上教育長に手渡す大山野球協会会長(写真左)

国民健康保険税 約10%引き上げます

誰もが安心して医療サービスを受けられる。その支えになっている国民健康保険は、互いの助け合いによって成り立ちます。しかし、近年の医療費の増大などにより、国民健康保険を支える財政はきわめて厳しい状況に置かれています。これらの状況を踏まえながら、町は安定した医療サービスを持続するため、平成21年度分から国民健康保険税の税率を約10%引き上げします。

改定後の税率・税額

改定により、税率や課税限度額は次の表のとおりになります。()内は平成二十年の税率です。

	0～74歳		40～64歳
	医療分	後期高齢者支援分	介護分
所得割※ ₁	5.3% (4.8%)	1.4% (1.2%)	0.8% (0.7%)
資産割※ ₂	31.0% (28.0%)	7.7% (7.0%)	7.2% (6.5%)
均等割※ ₃	24,000円 (22,000円)	5,500円 (5,000円)	8,300円 (7,500円)
平等割※ ₄	28,600円 (26,000円)	6,600円 (6,000円)	5,500円 (5,000円)
課税限度額	470,000円	120,000円	100,000円

の移行後五年間

国保から後期高齢者医療制度に移した人を含めて、従来どおり保険税の軽減判定を行います。

国保加入者が一人になる世帯については、医療分と後期高齢者支援分の平等割が半額になります。

②七十五歳以上の人が被用者保険から後期高齢者医療制度に移したことにより、その被扶養者で六十五歳以上の人が新たに国保に加入する場合の移行後二年間

申請により、所得割と資産割が全額免除、均等割が半額になります。被扶養者だけの世帯は、平等割も半額になります。

●特別徴収(年金からの支払い)対象者

六十五歳以上七十五歳未満の世帯主である国保加入者で、次のいずれにも該当する人は、特別徴収の対象者になります。

ただし、申請することで口座振替に変更することができます。

①世帯内の国保加入者全員が六十五歳以上七十五歳未満

②年金の年額が十八万円以上で、国保税と介護保険料の合計額が年金受給額の二分の一以下

☎ 0178・56・4704

各種認定証の更新

●七十歳以上の国保加入者へ

●国保の高齢受給者証が更新

七十歳から七十四歳までの国保加入者に交付されている「高齢受給者証(白色)」は、本年七月三十一日で有効期限が切れます。新しい高齢受給者証を七月下旬に送付します。

平成二十年中の所得状況などにより、八月一日から医療機関での窓口負担割合が変わる場合があります。

●国保の限度額適用・標準負担額減額認定証が更新されます

高齢受給者証で医療を受ける人のうち、低所得ⅠまたはⅡの対象者に交付される「限度額適用・標準負担額減額認定証(青色)」は、本年七月三十一日で有効期限が切れます。新しい認定証の交付には、申請手続きが必要で、対象者には通知しますので、早めに手続きしてください。

●七十歳未満の国保加入者へ

病気やけがで入院した場合、医療費の窓口負担を軽減できます。

七十歳未満の国保加入者が入院した場合、限度額適用認定証を医療機関へ提示すれば、支払い額は自己負担限度額までになります。

現在入院中で限度額適用認定証が必要な人は、早めに手続きしてください。

●申請場所

環境保健課、町民課

●持参するもの

国保の保険証、世帯主の印鑑

☎ 0178・56・4218

国民健康保険って何?

国民健康保険は、病気やけがの時に安心して医療サービスを受けられるよう、お金を出し合い、支え合う制度です。略して「国保」と呼ばれることもあります。サラリーマンなどの健康保険や、公務員の共済組合などとともに、医療保険制度の根幹をなすものです。1961年には国民すべてが公的医療保険に加入する「国民皆保険体制」が整えられました。

国民健康保険の加入対象(被保険者)は、0歳から74歳までの、主に次の人たちです。

- 店などを経営している自営業者
- パートなどで職場の健康保険に加入していない人
- 農業者や漁業者
- 外国人登録をし、日本に1年以上滞在する人
- 退職などで職場の健康保険をやめた人

国民健康保険税は、国保財政を支える大切な財源です。必ず納期内に納めましょう。

国保税第1期納期	7月31日(金)
国保税第2期納期	8月31日(月)
国保税第3期納期	9月30日(水)
国保税第4期納期	11月2日(月)
国保税第5期納期	11月30日(月)
国保税第6期納期	12月25日(金)
国保税第7期納期	2月1日(月)



ワッパ
[民具ふれあい館蔵]

いつの日も食事は楽しみであり、大切なものである。神社参拝をはじめとする旅や山仕事漁などに持参する弁当の容器の中で、かつて最も用いられた

が、曲げ物のワッパである。飯ワッパと菜ワッパがあった。杉やヒバの薄板を曲げて丸め、桜の皮で縫いとじ、底板を付けてつくった。通気性があり、軽くて丈夫であった。形は円形や楕円形がある。大きさは飯一合、二合、三合、五合入りなどさまざまあった。蓋の深さが身の深さと同じものは、身にも蓋にも飯を詰めて合わせると、二食分入った。稗飯は冷めるとポロポロになるので、水をかけて

かき込んで食べることもあった。菜ワッパには、焼いた塩マス、生味噌、味噌大根、大根のぬか漬、キュウリ漬けなどを入れた。かつて白米は特別な日のご馳走だった。白い飯を毎日のように食べられるようになるのは、昭和の戦後からである。

文化財保護審議委員会
櫻庭俊美

夏の絵日記コンクール作品募集

町立図書館では「夏の絵日記コンクール」を開催します。夏の楽しい思い出を絵日記にしてみませんか？ たくさん応募を待っています。

●応募資格 町内保育園・幼稚園児、小学生

●作品募集期間 七月十日(金)から八月七日(金)まで

●提出先 町立図書館

●結果発表 八月二十二日(土) 作品は大山将棋記念館に展示する予定です。

●応募方法 図書館、公民館図書室で用紙を配布しますので、直接カウンターまで取りに来てください。

●問い合わせ 町立図書館
☎0178・52・3900

◆ 図書館 ◆

● 日本を滅ぼす「自分バカ」 / 勢古浩爾

● パラドックス13 / 東野圭吾

● それは「うつ病」ではありません！ / 林公一

● 会社人生に必要な知恵はすべてマグロ船で学んだ / 齊藤正明

● 最後の冒険家 / 石川直樹

● 風土の発見と創造 1 / 三澤勝衛

● 「分かりやすい教え方」の技術 / 野村正樹

● 若者が求める年金改革 / 植村尚史

● 自衛隊はどこまで強いのか / 田母神俊雄

● 多重人格者 / 岡野憲一郎

● 銭湯 / NHK「美の壺」制作班

● 建築家安藤忠雄 / 安藤忠雄

● もっと私たちのお弁当 / クウネルお弁当隊

● 太一×ケンタロウ男子ごはんの本 / 国分太一

● あの人の食器棚 / 伊藤まさこ

● ツレはパパ1年生 / 細川貂々

● オリイバンドベリリーファンブック / 小暮剛

● ロマンチック・エロチスト / 甲斐庄楠音

● 怖い絵 / 中野京子

● ゲゲゲの女房 / 武良布枝

● 「書道」の教科書 / 横山豊蘭

● イメージと読みの将棋観 / 鈴木宏彦

● 読めそうでよめない間違いやすい漢字 / 出口宗和

● 理解という名の愛がほしい / 山田ズーニー

● 松本清張を推理する / 阿刀田高

● この文庫書き下ろし時代小説がすごい！ / 宝島社

● 楊令伝 9 遙光の章 / 北方謙三

● 八番筋カウンスル / 津村記久子

● 風の中のマリア / 百田尚樹

● 運命の人 1・2 / 山崎豊子

● 無趣味のすすめ / 村上龍

● 北公民館 ◆

● 無趣味のすすめ / 村上龍

● パラドックス13 / 東野圭吾

● 欲情の作法 / 渡辺淳一

● 津軽百年食堂 / 森沢明夫

● 砂冥宮 / 内田康夫

● ステップ / 重松清

● 罪と罰 / 本村洋

● 天地人 上 紅葉の教え / 小松江里子

● [アスリートたち] スポーツ選手の自伝や伝記 ★ 児童 ★

● [七夕と星座の本] 七夕の伝説や星の本

◎ 七月のよみきかせ会

● 日時 七月十一日(土)、二十五日(土) 十四時から

● 場所 あそぼっと (図書館内)

◎ 七月の図書館休館日

● 七月六日(月)、十三日(月)、二十一日(火)、二十七日(月)

レザークラフト教室

● 日時 八月二十五日(火)、九月一日(火)、八日(火)、十五日(火)、二十九日(火)の全五回 十時から十二時まで

● 場所 中央公民館

● 講師 蛭名由美子さん

● 受講料 無料

● 教材費 一回千円程度

● 定員 先着十人(町民)

● 持ち物 エプロン、タオル、筆記用具

● 締め切り 七月三十一日(金)まで

● 日時 八月二日(日)、九日(日)の二回

季節野菜の料理教室

● 日時 八月二十七日(木) 十時から十三時まで

● 場所 いきいき館

● 講師 古川廣志さん(カワヨグリーンロッジ)

● 定員 先着二十人(町民)

● 受講料 無料

● 材料費 八百円

● 締め切り 七月三十一日(金)まで

ヨガサークル体験者募集

● 生活習慣病予防、健康促進のためにヨガを体験しましょう。男女問わず大歓迎です。

● 日時 毎週月曜日 十八時半から十九時半まで 七月十三日(月)から始まります

● 場所 東公民館

● 服装 動きやすい服装

● 持ち物 水分補給の飲み物、ヨガマット(なければ大きめのバスタオル)

● 東公民館
☎0178・52・2061

史跡公園(仮称) ワークショップ参加者募集



阿光坊古墳群は、阿光坊地区にある大規模な古墳群。7世紀前半から9世紀末につくられたと思われる墳丘(お墓)が100基以上確認されている。昭和62年の発見以降、発掘調査が続けられた。平成19年7月、国指定文化財に指定された。

国史跡阿光坊古墳群を皆さんの公園にしていきたいと思います。ぜひ意見を聞かせてください。

七月下旬から九月上旬にかけて四回程度集まって意見交換をします。詳しい日程などは、参加者に直接連絡します。

● 募集人数 五十人

● 報酬 なし

● 主会場 東公民館

● 問い合わせ 生涯学習課
☎0178・56・4276

野菜スイーツ商品開発 ワーキングメンバーを募集



おいらせブランド推進協議会は、おいらせ町の野菜を使って、おいらせ町の人と一緒に新しい野菜スイーツを開発します。

このプロジェクトに参加してもらえるDスイーツ製作の協力店(ケーキづくりの職人さん) D野菜農家 D アイディアなどを出してくれる人などを募集しています。メンバーになった人は、おいらせブランド推進協議会の会員として参加していただきます。

町内の製菓店や、個人でお菓子を販売している人にも参加をお願いしたいと考えています。たくさんの種類のスイーツを手がける予定ですので、少人数のグループに分かれて活動してもらいます。

新しい商品を開発して、おいらせ町を全国にアピールしましょう。食べた人が笑顔になるスイーツを目指して、生産者と製造者、そして販売のトータルを、おいらせブランドがサポートします。

●野菜スイーツって何？ 野菜を材料に使った、甘いお菓子などのことです

●アドバイザー 三宅曜子さん(㈱クリエイティブワイズ代表取締役社長)

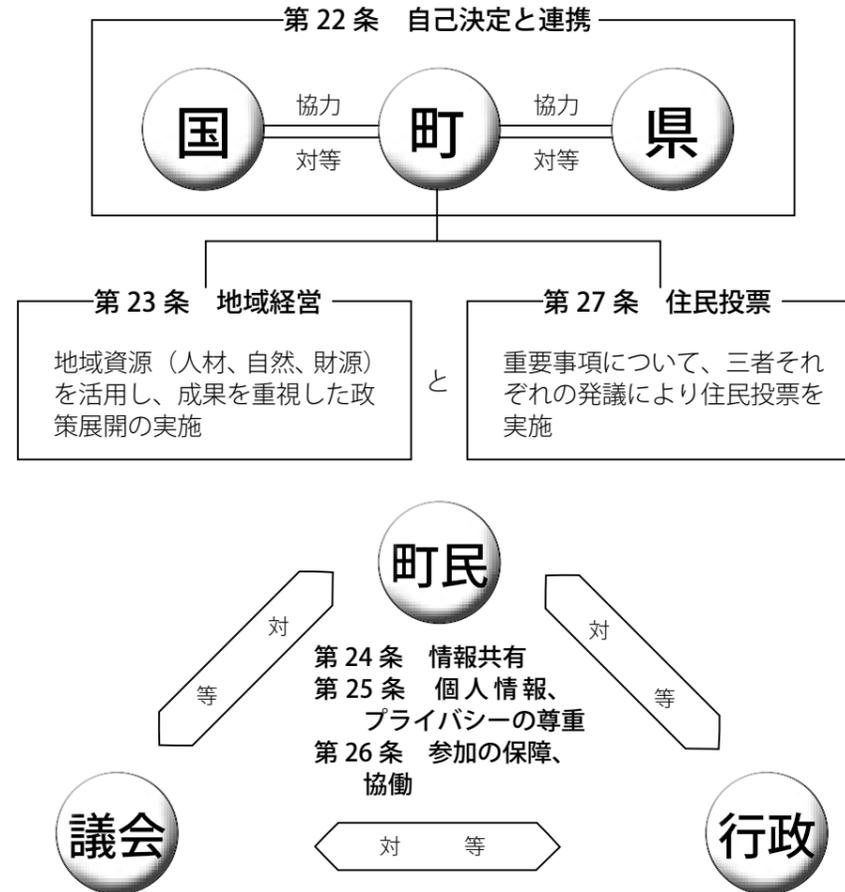
●申し込み期限 7月10日(金)まで

●申し込み・問い合わせ おいらせブランド推進協議会(分庁舎4階)
☎0178-56-2019

—平成21年度地域資源∞ 全国展開プロジェクト事業—

自治基本条例

町民、議会、行政が協働してまちづくりを進めるためには、共通の理解が必要です。今回は、まちづくりの基本原則（ルール）を紹介いたします。



第八章 まちづくりの基本原則

（自己決定と連携）
第二十二条 おいらせ町は、地方自治の理念に則り、国及び青森県と対等な立場で相互に協力してまちづくりにあたりま

（地域経営の原則）
第二十三条 おいらせ町は、持続可能な地域社会を実現するため、地域経営の視点から、地域資源を活用し最小の経費で最大の効果を上げるよう努めます。

（知る権利と情報共有）
第二十四条 おいらせ町は、町民の知る権利を尊重し、町民、行政及び議会の保有する情報を可能な限り共有します。

（個人情報の尊重）
第二十五条 おいらせ町は、町民の個人情報とプライバシーを尊重します。

（参加の保障と協働）
第二十六条 おいらせ町は、町民のまちづくりに参加する機会を保障します。

2 町は、町民が地域活動、公益活動、ボランティア活動など自主的な活動に参加しやすい環境を整備し、町民、行政及び議会の協働によるまちづくりを進めます。

（住民投票）
第二十七条 おいらせ町の重要事項については、おいらせ町の住民、町長又は議会の発議により、住民投票を行うことができます。

（原文のまま掲載）

「おいらせ町はどんな住民自治組織を目指すのか？」 -前号に引き続く-

現在、住民自治組織検討委員会は、町内会をはじめとした団体が抱えている問題点を出し合いながら、解決のために「誰がやるのか」「既存の組織でできないのか」「団体間を越えた連携ができるのか」など、組織のあり方を協議してきました。平成20年7月から今まで、15回にわたり検討を続けています。

次の表は、現在検討を続けている内容の一部です。

名称	組織の規模	具体的な役割	組織の形態	補助の種類
・〇〇地区地域づくり協議会	①小学校単位で5地区	・自発的な地域活動の企画、立案、実施	（拠点施設） ・3公民館と地区の集会施設を活用	①基礎的活動経費（人口割） ②コミュニティ事業活動経費
・〇〇地区まちづくり協議会	②地域の特性とに合った近隣の町内会単位	・地域内まちづくり計画	（役員・事務局） ①公民館ごとに専門職員配置	③生活基盤整備活動経費
・〇〇地域づくり連合会	③上記②を基本とするが、世帯数に応じ10～15単位	・防犯、交通安全、災害などの安全対策	②事務局は地域担当制の町職員を配置	④施設の管理、運営経費は不要
・〇〇町内会連合会	④下部組織として各種委員会を設置	・福祉、教育、文化の推進など	③事務局はボランティア など	⑤立ち上げ当初の設立経費は必要 など

まちづくりフォーラム

自治をみんなで考えあう「まちづくりフォーラム」を開催します。将来のまちづくり、地域づくりのヒントを得るよい機会です。気軽に参加してください。

●日時 七月十一日（土）
十四時から十七時まで

●場所 みなくる館

●内容

①基調講演
演題「分権時代の自治体経営（住民・議会・行政の協働）」
講師／中川幾郎さん（奈良県帝塚山大学教授）

②パネルディスカッション
テーマ／「おいらせのコミュニティ

テイのかたちを創る」
○コーディネーター
大杉寛さん（首都大学東京教授）
○パネラー
佐藤克朗さん（宮城県丸森町しあわせのまちづくり課課長補佐）
高橋武俊さん（神奈川県藤沢市景観まちづくりコーディネーター）
三浦麻子さん（プランニングネットワーク東北事務局長）
福原仁一さん（古間木山連合町内会長）

●問い合わせ 企画課
☎0178・56・4701

定額給付金

申請は済みましたか？
町は三月二十五日から定額給付金の申請を受け付け、四月九日から随時給付しています。

定額給付金を受け取るには、申請手続きが必要です。まだ申請していない人は早めに手続きしてください。

▽手続き方法がわからない▽申請書をなくした▽申請書が届かないという人は、総務課に気軽に連絡してください。

詐欺に注意
定額給付金を騙り、現金をだま

し取る事件が発生しています。町は次のようなことを絶対にしませ

●町職員がATM（現金自動預払機）の操作をすることはありません

●町職員が手続きのために手数料を求めることは絶対にありません

不審な電話がかかってきたら、迷わず相談してください。

●問い合わせ
総務課（本庁舎二階）
☎0178・56・2166
三沢警察署
☎0176・53・3145
警察相談電話 #9110

介護保険

介護福祉課
☎0178-56-4705
INFOMATION

利用者負担を軽減する制度があります

介護保険施設の住居費や食費の負担限度額

介護保険施設などでの住居費や食費は、原則として全額自己負担です。しかし、低所得者の施設利用を支えるために、利用者負担段階が4段階に設定されています。第1段階から第3段階の該当者は、町に申請することで、負担額を軽減することができます。

食費・居住費の利用者段階

対象要件	1日の減額割合の目安
第1段階 ①町民税世帯非課税*の老齢福祉年金受給者 ②生活保護受給者	1,380円 → 300円
第2段階 町民税世帯非課税で、合計所得金額と課税年金収入を合わせて80万円以下の人	1,380円 → 390円
第3段階 町民税世帯非課税で、第2段階に該当しない人	1,380円 → 650円
第4段階 上記のいずれにも該当しない町民税課税世帯（本人課税）	1,380円

*1世帯全員が町民税を納めなくてもよい世帯のこと

●減額認定の有効期限

減額認定の有効期限は、原則として申請した月の初日から毎年6月30日までです。引き続き減額の認定を希望する場合は、毎年の更新申請が必要です。

●負担限度額認定申請の方法

介護保険施設（特別養護老人ホームなど）や短期入所介護事業所（ショートステイ）を利用する場合は、印鑑を持参し、介護福祉課の窓口で申請してください。

高額介護（予防）サービス費

介護保険サービス利用者負担額が著しく高額になった場合は、利用者負担額から下表の負担限度額を差し引いた額を、申請により支給します。

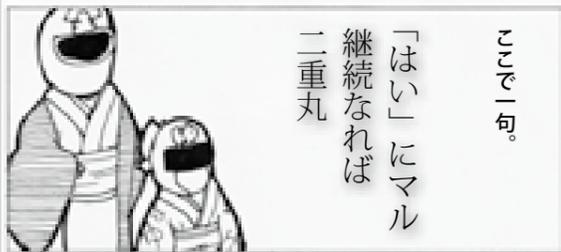
●所得区分ごとの負担限度額

所得区分	負担上限額
生活保護受給者	個人 15,000円
町民税世帯非課税	世帯 24,600円
①合計所得金額+課税年金収入=80万円以下	個人 15,000円
②老齢福祉年金受給者	個人 15,000円
上記にあてはまらない場合	世帯 37,200円

●高額介護（予防）サービス費の支給申請方法

1カ月の利用者負担額（同世帯に複数の利用者がいる場合は世帯合計額）が上記の限度を超えたときは、印鑑と被保険者名義の通帳を持参し、介護福祉課の窓口で支給申請をしてください。初回申請すれば、翌月以降に対象になった場合には指定口座へ支給額を振込みします。詳細は気軽に問い合わせてください。

免除申請 - 継続編 -



免除の該当理由が、失業や倒産などの場合は、継続できません

教えておいらくん

免除申請の受付期間

年度	対象期間	受付期間
平成20年度	平成20年7月	平成20年7月1日
	〃	〃
平成21年度	平成21年6月	平成21年7月31日
	平成21年7月	平成21年7月1日
平成22年度	平成22年6月	平成22年7月31日
	〃	〃

平成20年度の申請受け付けは7月31日までだよ。忘れていた人は早めに手続きしてね。



■問い合わせ 八戸社会保険事務所 Tel.0178-44-1742
町民課(本庁舎1階) Tel.0178-56-2246

いきいきランラン美化賞を募集します

町は、緑化活動や清掃活動などの取組みを表彰します。さわやかな生活環境で、誰もが安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいきましよう。

●対象 町民(団体を含む)
●表彰の内容
①緑化活動賞/花や緑を生かして、おおむね二年以上計画的な環境整備を行い、景観向上に寄与した個人または団体

②環境美化賞/公共の場所をおおむね五年以上にわたり清掃美化活動した個人または団体
●推薦の手続き
環境保健課、町民課、北部出張所に備え付けの推薦用紙に必要事項を記入して、応募してください。推薦用紙は、町ホームページからダウンロードすることもできます。
●推薦期間 七月一日(水)から十月三十日(金)まで
●審査・発表
町長が委嘱する委員で構成する廃棄物減量等推進審議会

で審査します。表彰者には直接通知し、広報おいらせやホームページで公表します。表彰者には、賞状と記念品を贈ります。
生ごみも大切な資源
生ごみ処理機に補助
町は家庭用生ごみ処理機を購入する人に対し、三万円を上限に補助金を交付しています。購入を検討している人は気軽に問い合わせてください。
●問い合わせ 環境保健課
☎0178・56・4218

納税相談窓口を開設

日中仕事などで、税金の納付や相談が困難な皆さんを対象に、夜間と休日に納税相談日を設けています。開設時間内であれば、各種税金を納めることもできます。気軽に利用してください。

	月日	時間	会場
夜間	7月7日(火)	17:15-20:00	税務課(本庁舎)
	7月21日(火)		
	7月14日(火)		分庁サービス課(分庁舎)
	7月28日(火)		
休日	7月5日(日)	8:30-17:00	税務課(本庁舎)

●問い合わせ 税務課 ☎0178-56-4704

◎7月31日は次の税金の納付期限です。

国民健康保険税(第1期)、介護保険料(第1期)、後期高齢者保険料(第1期)、固定資産税(第2期)納め忘れ防止、手間のかからない口座振替が便利です!

地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業

国の経済危機対策を受け、町は次の事業を実施します。

●低炭素革命
□環境対応車導入事業(総務課)
□資源ごみ箱設置補助事業(環境保健課)
●金融対策
□緊急保証制度申請保証料助成事業(商工観光課)
●健康長寿・子育て
□子育て応援特別手当給付事業

●底力発揮・二十一世紀型インフラ整備
□公共施設地上デジタル対応事業(総務課)
□校務用パソコン購入事業(学務課)
□教育用パソコン購入事業(学務課)
□教育施設デジタルテレビ購入事業(学務課)
□農産物加工機械購入補助事業(農林水産課)

●地域活性化
□観光イベント等備品購入事業(商工観光課)
□プレミアム商品券発行補助事業(商工観光課)
□町道整備事業(地域整備課)
□スポーツ車購入事業(スポーツ振興課)
●安全・安心確保
□防災資機材等整備事業(総務課)
□廃棄物処理施設解体事業(環境保健課)
□児童館環境整備事業(児童館)

気軽に相談してください

人権相談

- 日時 7月13日(月) 9時から12時まで
- 場所 中央公民館 会議室(2階)
- 相談者 人権擁護委員
- 内容 差別、離婚、相続、虐待、近隣トラブルなどの人権侵害

ごみは夜出さず、収集日の朝8時までに出してください。ペットボトルのキャップやラベルははずしてください

町内会	住吉町/若葉/青葉/緑ヶ丘 鍋久保/木ノ下/豊栄/豊原 向山/苦米地/洋光台/根岸 黒坂/深沢/一川目/二川目	鍋久保/三本木/三田/間木/曙 木内々/染屋/木崎/秋堂/中野平 苗振谷地/向坂/本町地区/くるみ団地 藤ヶ森/いちょう団地/堀切川/川口 明神下/横道/日ヶ久保	
燃えるごみ	毎週月・木曜日	毎週火・金曜日	
燃えないごみ	7月24日(金)	7月28日(火)	7月27日(月)
資源ごみ	缶・プラスチック 7月1日(水) プラスチック 7月15日(水)	紙 7月8日(水) びん 7月22日(水)	
粗大ごみ	7月10日(金)・24日(金) ★有料予約制/1週間前までに申込みが必要です		

祝日も収集します

町新エネルギービジョン策定委員を公募

町は本年度、新エネルギービジョンを策定します。これは、▽太陽光▽太陽熱▽風力▽バイオマスなどの新エネルギーの可能性を探り、地域の住民や企業が連携し、新エネルギー事業の導入促進を図ることを目的とするものです。

本計画策定に町民の意見を反映するため、委員の一部を募集します。興味、関心のある人は気軽に問い合わせてください。

●応募資格
①本町に住所または勤務先を有する満十八歳以上で、新エネルギーに興味、関心がある人
②本庁舎まで自分で移動し、会議に参加できる人
③町のほかの審議会、委員会、懇話会などの委員、議員、職員または行政機関の職員でない人
④禁固以上の刑に処せられない
⑤成年被後見人、町税などの滞納者のいづれにも該当しない人

●募集人数 二人程度
●任期 委嘱の日(八月上旬)から平成二十二年二月二十八日まで
●会議 日中四回程度、県外視察研修一回程度
●謝礼 日額五千三百円、視察研修日当二千円
●応募方法 応募用紙に必要な事項を記入し、持参、郵送、ファックス、電子メールのいずれかの方法で申し込んでください。応募用紙は▽企画課(本庁舎)▽分庁サービス課(分庁舎)▽北

部出張所に備え付けています。町ホームページからダウンロードすることもできます。応募の際に得た個人情報、本事業の目的以外には使用しません。
●応募締め切り 七月十五日(水) 郵送の場合は当日消印有効
●選考方法 応募申込書を審査し、結果は文書で通知します。
●問い合わせ・提出先 企画課(本庁舎二階)
☎0178・56・4701

●問い合わせ 環境保健課(分庁舎1階) Tel.0178-56-4218

Monthly Oirase Information

おいらせ町役場 ☎ 0178-56-2111 (代表) おいらせ病院 ☎ 0178-52-3111 中央公民館 ☎ 0178-56-2251
 東公民館 ☎ 0178-52-2061 北公民館 ☎ 0176-57-0033 町民交流センター ☎ 0178-56-4711 いちよう公園体育館 ☎ 0178-52-6744
 地域包括支援センター ☎ 0178-52-7086 老人福祉センター ☎ 0178-56-4415 農村環境改善センター ☎ 0178-56-5255
 いきいき館 ☎ 0178-52-7095 のびのび館 ☎ 0178-50-1601 みなくる館 ☎ 0178-52-3900 学校給食センター ☎ 0178-52-3319

OIRASE BRAND File ⑤

【全国に誇れる】
 おいらせが **ブランド**
 にんじん娘



Ninjin Musume

「ケーキのヒマラヤ」で二十年近く前からつくられているにんじん娘は、店の看板商品の一つだ。ふんわりとした黄色いカステラ、表面は絶妙な焦げ目で、食欲をそそる。口にすると、上品な甘みと香ばしさが広がる。ニンジン嫌いな人でも、おいしく食べることができる。材料として使うニンジンはずべておいらせ町のものを使っているという、こだわりのお菓子だ。商品開発のきっかけを、店長の馬場たいさん

は懐かしそうにこう語る。「町の特産品のニンジンを使って、何かつくってくれないかと、種市良平町長(故人、元下田町長)に頼まれたのがきっかけです」リニューアルしたかわいらしいパッケージに包まれたにんじん娘。お土産にも最適の一品だ。

町はおいらせブランド推進協議会と一緒にブランドづくりに取り組んでいます。本年度はモニターツアーや新商品開発プロジェクトなどに取り組む予定です。興味のある人は、ぜひ入会してください。

●問い合わせ
 おいらせブランド推進協議会 ☎ 0178-56-2019
 ポータルサイト <http://www.oirasebrand.com/>

職員採用
 平成二十一年度
 町職員採用試験
 ① 採用予定
 ② 中級試験(短大・専門学校卒業、見込みを含む) / 一般職 / 若干名
 ③ 受験資格
 ④ 昭和四十九年四月二日から平成四年四月一日までに生まれた人で、高等学校以上を卒業(平成二十二年三月卒業見込みを含む)し、活字印刷文に対応できる人
 ● 留意事項
 次のいずれかに該当する人は受験できません。
 ① 日本国籍がない人
 ② 成年被後見人または被保佐人
 ③ 禁固以上の刑に処せられ、その執行が終わっていない人
 ● 一次試験日程
 九月二十日(日)

● 受験手続き
 受験申込書用紙は、七月三日(金)からおいらせ町役場総務課で交付します。郵送を希望する人は、「職員採用試験申込書請求」と朱書きし、八〇円切手を貼った宛て先明記の返信用封筒(長形3号)を同封のうえ、請求してください。
 ● 提出書類
 ① 職員採用試験申込書
 ② 卒業(見込み)証明書
 ③ 顔写真二枚(うち一枚は申込書に貼る)
 ※写真は縦四×横三センチ、受験前三カ月以内に撮影したもの
 ● 問い合わせ
 総務課人事係
 〒039-2192
 おいらせ町中下田
 一三五の二

子育て支援センターのサークル活動

場所	日時	行事内容等
三田保育園 ☎ 0178-56-2008	7/1 ⊕ 10:00~11:00	手づくりおもちゃで遊ぼう
	7/4 ⊕ 9:00~12:00	運動会
	7/7 ⊕ 10:00~11:00	手づくりおもちゃで遊ぼう
	7/8 ⊕ 10:00~12:00	体験保育(2歳クラス)
	7/9 ⊕ 10:00~12:00	体験保育(1歳クラス)
	7/10 ⊕ 10:00~11:30	育児講座(ゆかたの着付け教室)
	7/15 ⊕ 10:00~12:00	ハンドメイドクラブ
	7/16 ⊕ 10:00~12:00	体験保育(0歳クラス)
	7/23 ⊕ 10:00~12:00	マタニティママクラブ
	7/28 ⊕ 10:00~11:30	親子クラブ
錦ヶ丘保育園 ☎ 0178-56-4051	7/1 ⊕ 10:00~11:30	元気ルーム(七夕製作)
	7/2 ⊕ 10:00~11:30	ピヨピヨサークル(七夕製作)
	7/11 ⊕ 17:30~19:30	ゆうすずみ会(ゲームで遊ぼう)
菜の花保育園 ☎ 0176-53-8670	7/11 ⊕ 10:00~11:30	体験保育
	7/11 ⊕ 14:00~15:30	ワクワクサークル(お花やハーブを植えましょう)
あゆみ保育園 ☎ 0178-52-2206	毎週土曜 15:00~16:00	キッズバレエ&リフレッシュ体操(有料)
	7/2 ⊕ 10:00~11:30	フラダンスを体験しましょう
	7/3 ⊕ 10:30~11:00	青空キッズ(中央公園)
	7/7 ⊕ 10:00~11:30	いちよう公園散歩
	7/9 ⊕ 10:00~11:30	夕涼み飾り
	7/13 ⊕ 10:30~11:00	青空キッズ(いちよう公園)
	7/14 ⊕ 10:00~11:30	草取り、戸外遊び
	7/16 ⊕ 10:00~11:30	ピースサークル
	7/17 ⊕ 13:30~14:30	マタニティほんわかルーム
	7/21 ⊕ 10:00~11:30	誕生会(4月~7月生まれ)
	7/23 ⊕ 10:00~11:30	おいらせクロバ
	7/28 ⊕ 10:00~11:30	ポシットづくり、給食体験
	7/30 ⊕ 10:00~11:30	おしゃべりサロン

詳細はさらら通信を確認してください

● 受検手続き
 七月三日(金)からおいらせ町役場総務課で交付します。郵送を希望する人は、「職員採用試験申込書請求」と朱書きし、八〇円切手を貼った宛て先明記の返信用封筒(長形3号)を同封のうえ、請求してください。
 ● 提出書類
 ① 職員採用試験申込書
 ② 卒業(見込み)証明書
 ③ 顔写真二枚(うち一枚は申込書に貼る)
 ※写真は縦四×横三センチ、受験前三カ月以内に撮影したもの
 ● 問い合わせ
 総務課人事係
 〒039-2192
 おいらせ町中下田
 一三五の二

イベント
 青森県フアイン・ボール大会を開催
 ① 日時 七月二十六日(日) 九時十五分から(受付は八時半から)
 ② 場所 下田公園キャンプ場(雨天の場合は交流センターおよびいちよう公園体育館)
 ● 申し込み方法 交流センター、スポーツ振興課に備え付けの申込書で、七月二十一日(火)までに申し込み
 ● 問い合わせ
 交流センター(事務局)
 ☎ 0178-56-4711

親子で料理づくりを楽しみましょう
 母子家庭を対象に親子料理教室を行います。
 ● 日時 七月二十六日(日) 十時から
 ● 場所 老人福祉センター
 平和祈念祭を開催
 ① 日時 七月二十六日(日) 十時から
 ● 場所 老人福祉センター

有限会社 北浜葬儀センター

電話1本で、どこの病院からでも御遺体を自宅までお運びいたします。葬儀一式25万円から、お客様の予算に合わせてサービスいたします。お気軽に御相談ください。年中無休。24時間営業。

おいらせ町二川目四丁目 73-1468 ☎ 0178-53-2614

子どもだて

乳幼児医療費給付事業のお知らせ

町民課 ☎ 56-2246

町は、町内に住所があり、健康保険に加入している〇歳から六歳(小学校入学前)の子どもの医療費の一部を助成しています。

●助成の内容

- ①〇歳から三歳児まで
 - ・入院・通院とともに受給者負担なし
- ②四歳から六歳児まで
 - ・入院の場合は一日につき五百円の受給者負担
 - ・通院の場合は一月につき千五百円の受給者負担

●受給資格証の交付

助成を受けるためには保護者の申請が必要です。認定者には受給資格証を交付します。

- 申請に必要なもの
 - ①子どもの保険証
 - ②印鑑
 - ③本年一月一日に町内に住所がなかった人は、「所得課税証明書」が

ひとり親家庭等医療費受給者の更新手続き

町民課 ☎ 56-2246

ひとり親家庭等医療費受給者に該当する人は、更新の手続きが必要です。七月中に更新の手続きが完了しない人は、気軽に相談してください。

●助成方法が変わります

本年十月から、〇歳児から三歳児までの医療費の助成方法が、「償還払い」から「現物給付」に変わります。現物給付は、病院や薬局などで保険証と一緒に受給者資格証を提示すると、保険の適用になる医療費の窓口払いが不要になります。

●受け付け期間

七月一日(水)から七月三十一日(金)まで(土日祝日は除きます)

●受け付け時間

八時十五分から十七時十五分まで

●受け付け場所

①町民課(本庁舎一階) ②分庁サービス課(分庁舎一階)

●持参するもの

①保険証(対象者全員分) ②印鑑 ③受給者証(平成二十一年七月三十一日有効期限切れのもの)

●所得控除、扶養人数などが記載された平成二十一年度所得証明書

(平成二十一年一月二日以降においらせ町に転入した人)

町営霊園

町民課 ☎ 56-2246

現地説明会を開催
 場所の確認、霊園内の雰囲気など、見ていただくだけでもかまいません。

●墓地の購入を検討している人は、ぜひ足を運んでください。

●日時

七月十八日(土) 十時から十四時まで

●場所

町営霊園駐車場

募集

看護師を募集します

おいらせ病院 ☎ 52-3111

●募集人数

若干名

●受験資格

年齢三十歳までの看護師(取得予定者を含む)

●採用日

平成二十二年四月一日から

●勤務場所

おいらせ病院

●提出書類

次の書類を郵送または持参して

●カ月前)が必要です。

③公売参加申し込みの際に、クレジットカードや銀行振り込みなどの方法で、公売保証金を納付してください。落札できなかったときは公売保証金を全額返還します。

●問い合わせ

上北地域民局農政部 納税管理課

☎ 0176-22-8111

「県税・市町村税インフォメーション」

<http://www.pref.aomori.lg.jp/life/tax/html>

戸籍の窓

こんにちは赤ちゃん

工藤	陽恋	向楠	(信也・奈都美)	一川目
馬場	結姫	(樹・由衣)	三本木	
岩淵	美妃	(力・恵美子)	明神下	
二川	美侑	(功・えん)	二川目	
沼口	龍桜	(貴博・加奈子)	鶉久保	
庄司	己	(仁・綾乃)	木ノ下	
神	ゆめ	(雄一・瞳)	鶉久保	
パトナム	スカイラー	(ジェイアール・千恵)	木ノ下	
佐々木	梢江	(峻・直子)	住吉町	
坂井	田椎	(佳優・舞子)	木内々	
松林	世晴	(学・直香)	木ノ下	
オルソン	イザベル	(ワルツァール・真樹)	鶉久保	
澤上	燕	(雅俊・由美子)	木ノ下	

お悔やみ申し上げます

川口	己之助	80	藤ヶ森
袴田	マツエ	95	向山
大久保	留藏	86	上新町
松林	キエツ	76	木ノ下
永山	セツ	80	緑ヶ丘
馬場	岩藏	90	川口
馬場	市之助	85	三本木
松林	太	86	木ノ下
石田	昌典	72	一川目
村崎	サクラ	91	秋堂
小山	智寛	77	鶉久保
小吉	田タイ	97	一川目
馬場	薫	58	上新町
三浦	勇五郎	87	一川目
木村	き系	86	豊栄

5月届け出分。届け出時に、本誌への掲載を希望した人だけ載せています

おいらせ町の人口

人口		前月比
男	12,190	- 9
女	12,855	- 9
計	25,045	- 18
世帯数	9,165	+ 12

町民相談

- 日時 7月8日(水) 10時から15時
- 場所 中央公民館
- 担当 町民相談員 柏崎良子

行政相談

- 日時 7月22日(水) 10時から15時
- 場所 中央公民館
- 担当 行政相談員 徳永幸雄

固定資産税の過誤徴収のおわび

このたびの口座振替による固定資産税の過誤徴収につきましては、納税者ならびに町民の皆さまに大変ご迷惑をおかけしました。直ちに原因の解明と返金の手続きを行いました。その結果、6月1日の過誤徴収分の返金を、6月5日(金)までに完了しました。

今後、このような事態が発生することのないよう、電算へのデータ入力の見直しと事務処理の改善に努めてまいります。納税者ならびに町民の皆さまに、ご迷惑、ご不便をおかけしたことを、重ねておわび申し上げます。

●問い合わせ 税務課 ☎ 0178-56-4704

複写・復元

消えかかっていたり、折り目がついたりしている写真を複写、復元いたします。



成人振り袖レンタル

38,000円 予約済み中





TEL 0178-52-2525代 FAX 0178-52-2603

http://www.atelier-yu.co.jp おいらせ町上明堂86-27

有)アトリエゆう
労働大臣検定一級写真技能士の店

お知らせ 健康カレンダー

日・曜	行事名	時間	場所	備考
1 水	認知症予防教室	9:30-12:00	北公民館	
2 木	転倒予防教室	9:30-12:00	のびのび館	理学療法士の運動指導
3 金	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ、相談
4 土				
5 日				
6 月				
7 火	リハビリ健康相談 1歳6カ月児健康診査	9:30-11:00 受付/12:30-12:45	いきいき館 いきいき館	理学療法士のリハビリ、看護師の健康相談 対象/平成19年12月生まれの子ども
8 水	転倒予防教室 2~3カ月児健康相談 乳幼児健康相談	9:30-12:00 受付/10:00-10:30 受付/13:00-13:30	北公民館 いきいき館 いきいき館	理学療法士の運動指導 対象/平成21年4月生まれの子ども 月齢は問いません
9 木	転倒予防教室	9:30-12:00	のびのび館	理学療法士の運動指導
10 金	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ、相談
11 土				
12 日				
13 月				
14 火	リハビリ健康相談 2歳6カ月児健康診査	9:30-11:00 受付/12:30-12:45	いきいき館 いきいき館	理学療法士のリハビリ、看護師の健康相談 対象/平成18年12月から平成19年1月生まれの子ども
15 水	健口栄養講座	9:30-12:00	北公民館	
16 木	町民健診 転倒予防教室	受付/6:45-8:30 9:30-12:00	北公民館 のびのび館	理学療法士の運動指導
17 金	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ、相談
18 土				
19 日	愛の献血	10:00-16:00	イオンモール	
20 月				
21 火	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ、看護師の健康相談
22 水	転倒予防教室 9~10カ月児健康相談	9:30-12:00 受付/10:00-10:30	北公民館 いきいき館	健康運動指導士の運動指導 対象/平成20年9月から10月生まれの子ども
23 木	転倒予防自主トレーニング 転倒予防教室	9:30-12:00 11:00-12:00	のびのび館 老人福祉センター	理学療法士の運動指導
24 金	リハビリ健康相談 3歳児健康診査	9:30-11:00 受付/12:30-12:45	いきいき館 老人福祉センター	理学療法士のリハビリ、相談 対象/平成18年1月生まれの子ども
25 土				
26 日				
27 月				
28 火	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ、看護師の健康相談
29 水	認知症予防教室	9:30-12:00	北公民館	
30 木				
31 金				

編集後記

▽火災が起こるたびにサイレンを鳴らして現場へ急ぐ消防車の姿は、小さなころから何度も目にしていました。祖父や父たちが屯所に駆けつける姿は、今でもしっかりと記憶に残っています。でも、実際に炎が燃えさかる火災現場を間近で見たのは、枯れ葉や木が燃える姿を見て、あらためて火災の恐ろしさを感じました。懸命に消火活動を行う消防士や消防団員の姿は、今も脳裏に焼きついていて、消防団員の皆さんと話をするたびに、強い使命感と誇りを感じました。火災を出さないように、当たり前と思われような「火の後始末」をきちんとしなければと思います。▽小学校、中学校の運動会で、勝利を目指して一生懸命頑張る子どもたちの姿を見ました。勝ったうれしさではしゃぐ子どもたち。負けた悔しさをかみ締める子どもたち。結果は違えども、そのひたむきさは保護者だけでなく、会場に集まったたくさんの方々の心に残ったことだと思います。

企画課 広報担当 松林拓大

INFORMATION

警察官Bの募集

平成二十一年度警察官Bを募集します。受験年齢を従来より三歳引き上げしています。

●受験資格 昭和五十二年四月二日から平成四年四月一日までに生まれた人

●受付期間 八月十日(月)から九月四日(金)まで

●試験案内・申込書配布 七月十七日(金)から

●試験日程

①一次試験 九月二十七日(日) 会場/青森市、弘前市、八戸市 合格発表/十月九日(金)

②二次試験 十一月月上旬

会場/青森市 最終合格発表/十一月下旬

●注意事項 この採用試験日程などは変更になることがあります。受験の際は必ず試験案内を入手して、確認してください。

●問い合わせ 三沢警察署総務課 0176・53・3145

新規卒卒者を募集する

めには、早い時期の求人申し込みが効果的です。職安に來られない場合は、それ

皆既日食を楽しもう

航空科学館は、中国や八重山諸島で起こる皆既日食にちなんだイベントを行います。

●日食観測グラスづくり 〇日時 七月十二日(日) 十時から十六時まで

これらの企業に職員が訪問し、受け付けすることもできます。詳細は気軽に問い合わせてください。

●問い合わせ ハローワーク三沢(三沢公共職業安定所) 0176・53・4178

場所 航空ゾーン

〇材料費 百円
〇定員 五十組
●日食を見よう 〇日時 七月二十二日(水) 九時半から十二時半まで
〇場所 大空ひろば
〇参加料 無料
●皆既日食ライブ中継 〇日時 七月二十二日(水) 九時半から十二時半まで
〇場所 別館AVホール
〇参加料 無料
●問い合わせ 県立三沢航空科学館 0176・50・7777 <http://www.kokukagakui.jp/>

健診の申し込みを受け付けています

健診は随時受け付けています。毎年忘れずに健診を受け、元気で明るい毎日を送りましょう。

40歳から74歳の国保対象者には、5月に「健診申込書・受診しない場合の理由書(青色)」を送付し、全員に提出をお願いしています。提出していない人は、忘れずに提出してください。

なお、対象年齢は年度末(平成22年3月31日現在)の年齢です。

対象/20歳から39歳までの人/後期高齢者医療制度加入者(75歳以上、65歳以上の一部)/40歳から74歳までの国保加入者

1 いきいき館	8/12、11/4~11/6
2 老人福祉センター	8/9~8/11
3 北公民館	7/16、9/13、10/8~10/9
4 おいらせ病院	8/3~10/30
5 石田温泉病院	8/3~1/30
6 三上医院	8/3~1/30
7 下田診療所	8/3~1/30

受け付け時間/1~3は6時45分から8時半まで。4~7は各医療機関の指定する曜日、時間帯

がん検診 (胃、大腸、肺、前立腺)

対象/胃・大腸・肺(40歳以上)、前立腺(50歳以上)

1 いきいき館	8/12、11/4~11/6
2 老人福祉センター	8/9~8/11
3 北公民館	7/16、9/13、10/8~10/9

受け付け時間/6時45分から8時半まで

がん検診 (乳・子宮)

対象/乳がん(40歳以上、偶数年齢の女性)、子宮がん(20歳以上、偶数年齢の女性)

1 いきいき館	12/2~12/4
2 老人福祉センター	10/28~10/29
3 北公民館	11/12~11/13
4 おいらせ病院	8/3~1/25(ただし40~50歳代のみ受け付け)

受け付け時間/1~3は11時半から12時45分まで。4は毎週月曜日の13時から13時半まで(要予約)

●問い合わせ 環境保健課 ☎0178-56-4218

Original Frame & Urethan Panel

「FPの家」工場見学会 参加費 無料 **建てる前を見て・触れて・体感して 納得するまで体験しよう**

「FPの家」の要とも言える「FP断熱パネル」の製造工場を工場見学という形で毎月一般公開しております。建てた後で後悔しない「FPの家」のヒミツを「体感」してみませんか?

◎7月12日(日)に開催します。
◎8月は8月9日(日)の予定です。

お気軽にお問い合わせ下さい。

〒039-2135 上北郡おいらせ町立蛇71番地
Tel. 0178-50-6511 Fax. 0178-50-6510

ホームページ [柏崎組](#) [検索 Click](#)

株式会社 **柏崎組**

信越百年の夢の家 KASHIWAZAKI HOUSE

パネルマン  僕らと一緒に記念写真撮ろうよ!  FP坊や

大切な住宅作り、失敗しないためにも本物を見てからお決め下さい。

本物の住宅工法の全てが分かる目からウロコの見学会です!

※有料広告掲載欄です



Zoom Up

Zoom Up -2009. July-

太平洋を渡った八人の若人たちは 忘れぬ思い出を胸に明日へ羽ばたく

東部上北研究協議会は、四月二十三日から五月一日までの期間、中学生を米国へ派遣した。おいらせ町からは八人の中学生が本研修に参加。彼らは文化や言語の違いを感じ、忘れられない思い出を胸に刻んだ。

■日本からアメリカへ

成田空港から十三時間のフライトで、米国ニューヨークに着きました。こんなにも長い時間、飛行機に乗ったことはなかったのですがさすがに疲れました。米国で過ごした生活では、積極的に話すことの大切さを感じました。最初は恥ずかしかったけれど、勇気を持って話した英語が通じ、達成感を感じました。

ホストファミリーのみんなは、とても優しく私に接してくれました。この素晴らしい思い出を、わたしは一生忘れません。

■ホームステイでの思い出

百石中学校二年 境澤南帆
四月二十五日のウェルカムパーティーでは、ホストファミリーと話しました。「英語が通じるだろうか」と不安でしたが、でも、みんなはわたしに気をつけて、ゆっくりと話してくれました。友人サムとの別れはつらかったけれど、一生の思い出になりました。

▽自分に自信を持つ▽英語の発音▽積極性という、自分の目的を達成できました。

■ホームステイで大自然を満喫

下田中学校二年 類家宏平
四月二十六日、ホームステイ先のピーターたちと湖に行きました。初めてのカヌーは、操縦がとても難しかったです。ふと目を向けてみると、わたしから三メートル離れたところに、野生のリスが近寄ってきていました。米国の大自然を、思う存

な」と、うれしくなりました。友だちになったアレキシスの別れの時は、努めて笑顔で振る舞いました。でも、別れてからは涙が止まりませんでした。わたしにとって、それほど有意義で、楽しい時間でした。

■コミュニケーションの大切さ

事前研修で前もって準備していた「日本文化」の紹介を、米国の六年生から八年生を対象に行いました。みんな日本文化に興味を示してくれました。練習どおりにうまくいかなかったけれど、少しは日本のよさを伝えられたと思います。

米国での滞在中は、言葉や文化の違いに当惑することもありました。自分の考えを伝える「コミュニケーション」の大切さを、あらためて痛感しました。

■仲間たちに感謝の気持ち

木ノ下中学校三年 林大世
ボストンは古くから栄えた街のようで、伝統的な建物がたくさんあります。松坂大輔投手が所属するレッドソックスの本拠地フェンウェイ球場や、ハーバード大学など、有名な場所を見ることができました。この体験によって、わたしは以前よりも積極的に行動するこ

分体験することができました。

■シャプリ中学校と楽しく交流
木ノ下中学校三年 瀧沢優希
四月二十七日、わたしはシャプリ中学校で、現地の人と共に授業を受けました。ここでは、生徒が先生の部屋に移動して授業を受けます。日本とは違うと驚きました。

わたしの英語は、最初はみんなに通じていないようでした。でも、勇気を振り絞って、何度も話しかけました。通じたときは本当にうれしかったです。

■歓迎式典で民族音楽に触れる

百石中学校三年 日ヶ久保遥
シャプリ中学校の歓迎式典は、みんな満面の笑顔で楽しみました。米国の民族音楽を披露してくれた姿を見て、「自分たちのために練習してくれたんだ

とができるようになったのではないかと思います。文化や言葉が違って、優しく接してくれた仲間たちに、感謝の気持ちでいっぱいです。

■みんなの支えで得た思い出

下田中学校二年 遠藤亜衣
四月三十日、わたしたちは飛行機に乗り、ニューヨークから日本に向けて飛び立ちました。帰りのフライトは、来た時よりも短く感じました。家に着いたときは「帰ってきたんだな」と、少しほっとしました。

米国では、たくさんの人たちと交流できました。別れの時は、ホストファミリーのジェシーたちと、抱き合ったり、泣きながら別れを惜しみました。一生忘れない、貴重な思い出を、たくさんの人たちの支えのおかげで得ることができました。本当に感謝しています。

本文の掲載は、六月一日に開かれた報告会で発表された生徒のコメントを要約したものです

左から境澤南帆さん(百石中2年)、類家宏平さん(下田中2年)、瀧沢優希さん(木ノ下中3年)、林大世さん(木ノ下中3年)、只真由子さん(下田中2年)、日ヶ久保遥さん(百石中3年)、遠藤亜衣さん(下田中2年)、竹田捺珠さん(百石中3年)。
彼らは一生忘れられない、貴重な思い出を米国で得た。





「保育園は毎日が楽しいよ」
娘の満面の笑顔に母もにっこり
飛内明澄香
ちゃん
理香
さん

(染屋)

PROFILE

とびない・あすか◎2004年生まれ。将来の夢は「お菓子屋さん」になること。おぞら保育園に通う元気いっぱい女の子。4歳。

とびない・あやこ◎1975年生まれ。十和田市出身。夫と娘2人との4人暮らし。おいらせ町染屋在住、34歳

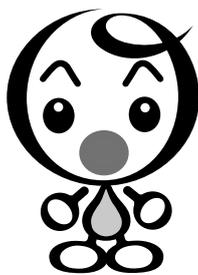
六月のさわやかな青空に恵まれたいちよう公園で、砂遊びを夢中で楽しむ飛内さん親子。

明澄香ちゃん(四つ)はおおぞら保育園に通っている。保育園では「おうちごっこ」や「おままごと」が大好きで、いつも友だちと一緒に遊んでいるという。「保育園は毎日楽しいよ」と笑顔でほほ笑む。

二年前に妹が誕生したことで、明澄香ちゃんはお姉さんとしての役目もしっかりこなしている。「お料理やお洗濯もちゃんとできるよ」と話す、頼りがいのあるお姉さんだ。

母の理香さんは、そんな明澄香ちゃんを優しく見つめながら「子どもたちには、病気をすることなく、健やかに育ってほしいですね」とにっこり。

小さな妹の世話にどうしても時間を取られることが多く、そんな時には寂しくなってしまうという明澄香ちゃん。母との二人きりの時間を、思う存分楽しんでいた。



奥入瀬川の恵みと笑顔あふれるまち

広報 **おいらせ**

広報おいらせ No.53 2009年7月1日発行号

発行 おいらせ町役場/編集 企画課/〒039-2192 青森県上北郡おいらせ町中下田135-2/☎0178-56-2111 / http://www.town.oirase.aomori.jp /印刷 (株)岩間印刷

広報おいらせ7月号の印刷経費は、1部52円です